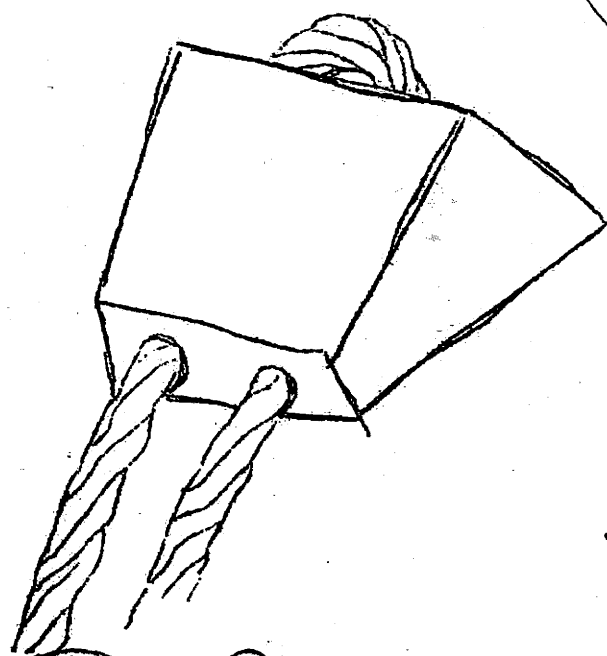


'83 泰山合宿

報告書



S.A.C.

信州大学山岳会

€ < ち

8/20 学校 ~ 内蔵助平のTSまで

8/21 T.S ~ 熊の岩 B.C

8/22 剣本峠へ

(45分の方)

8/23 A party スイートパーク東面スラブ

B

"

C 11ヶ峠 Ⅵ峠 Bフェース 京大 ~ 4ヶ峠 中奥4ヶ峠 =

D

Cフェース RCC 2ヶ峠 = Cのクラック

E

Cフェース 樹籾会 ~ 4ヶ峠 左後線

8/24

A party Ⅶ峠 Aフェース 魚津高ルート

B

Dフェース 富士木ルート

C

Bフェース 京大ルート

D

Cフェース 負陸会ルート

E

Dフェース 又縮米ルート

(中=3)

8/25

雨の泥濘記

8/26

A party

Dフェース 富士木ルート

B

Dフェース 又縮米ルート

山行

C

Aフェース 中大ルート

D

Aフェース 魚津高ルート

E

Cフェース RCC

8/27

A party

4ヶ峠左下左方カテ Dフェース 又縮米大 (お山の)

B

4ヶ峠左後線

C

4ヶ峠魚高Aバンクラ Aフェース 中大

D

4ヶ峠左下左方カテ Dフェース 又縮米 Aフェース 中大

E

4ヶ峠左後線

8/28

帰る

おちなみに 表裏の絵は紅霞人下田作です!

8月20日 (土)

Aパーテ L 細川 古賀 藤田 角谷 大前 加藤

起床 5:30 40kg 近い荷物であります
学校発 6:30

扇沢発 8:30 トリバスの混み方はハンパじゃない

ダム発 9:00 ①

出合 10:10 ①

11:10 ● 雨具をつける

内蔵助平の 12:15 ① 水飲む

T.S着 1:20 ①

40kgの荷物の山行ははてた。明日はB.Cの
熊岩まで行く予定。明日の行程はぶち
大変なのぞ。(記:カト)

Bパーテ L 澤田 鷹取 岡本 竹本 森 水谷

学校発 6:30 ① 荷物が重いのはうんざり
1973年 はみんなゆううつな顔つき
であった。

扇沢 7:45

トリバス

バスはめちゃくちゃ
こんでいた。

黒部ダム 8:50 ①

途中岩場が豊富にあった。

10:15 ①

11:40 ●

岡本氏が少しバテたようだった。

12:45 ①

内蔵助平着 2:00 ①

夏休み最後の山行であるだけにみんな今までの
疲山がとれた。(by 水谷)

8月21日(日)

Ap. L. 糸川 古賀 藤田 角谷 大前 カ-

5:05 T.S. 出

5:55 ○

7:07 ハシゴ谷乗越 ◎ おしあつく 汗が流れる

9:27 まさご沢 ロッジ ◎ 剣沢出合の雪けいに時間くう。

10:55 長次郎 出合 ● = カッパをつける

12:05 " 途中 ● = カウ おくんだし、コカ フジ
オーマエカドヤ 先に行く。

2:05 熊の岩 T.S. 着 ● =

(感) 午前中は天気がよく調子よく進んだが、まさご沢ロッジですぎた雨がはらつきだしつらかった。でもようやく熊の岩までたどりついた。明日からは登りまくろう。
あつから天気がよくなりますように (角谷)

Bic L 澤田 鷹取 田本 竹本 水谷 森

5:00 T.S. ○

5:55 1P

7:10 2P ◎

7:50 ハシゴ谷乗越

8:05 3P ● =

9:10 4P

10:00 剣沢出合

10:40 5P 真砂沢ロッジ スパ... ツ につける

11:50 6P 長次郎谷出合 ●

12:40 7P 雨具をつける

13:50 8P 田本 澤田 1P-テ-ヒ 別山
先に行く

15:25 熊の岩 T.S.

15:50 (田本 澤田 パ-テ-着)

この雨が3つたり
4つたり。剣沢の出合は
雪溪がキレまくった

雪溪上 寒い
途中から雨が強くなる

今日は距離のわりには時間がかかった。途中から
用本が遅いはじめ、夕刻に夕毛、夕毛ニ森が設営具
をもつ先に行た。個人的には昨日判案した気がする。
ただ、長次郎谷が長くていやでした。 記入者

8月22日(月)

全員で 剣本峰へ (朝雨が降り、2日間の)
岩登りは中止

TS 7:45 ● 長次郎谷を俣をつめ、稜線づたいに
剣本峰へ。右俣を登り、稜線付近に
スノックス点あり。

剣本の直上 9:55 ●

左俣をグリセードで下降、フリス多い。

TS 12:05 ●

(感) 長次郎谷は雪がつかまり、しんどかった。母。
しかし登りきったあとは久しぶりにすかすかしい気分でした。

稜線に出るからは、コブを越えただけで剣に意外
早くつきました。掃りのグリセードは少く不客でした。

調子にのってスノックス行こうにも雪深がガタガタ
だったのであきらまざるでした。おわり。

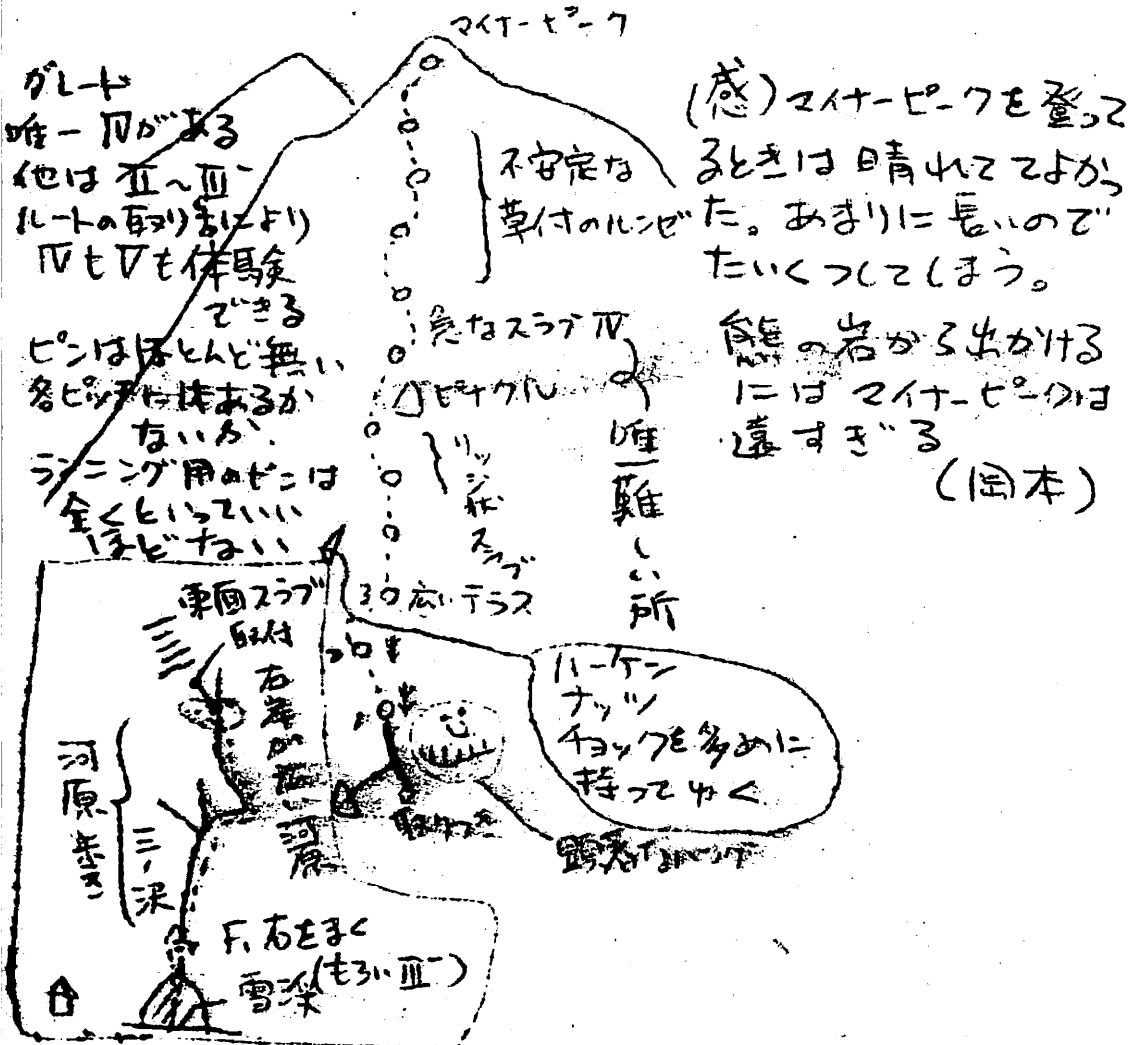
記: 竹本

8月23日(火)

A-10 マイターピーク 東面スラッグ L 沢田 国本

- ◎ 5=05 TS 発
- ◎ 6=50 真砂沢ヒュッチの先
- ◎ 9=15 取付
- ◎ 3=20 マイターピーク着 (12ヒュッチ)
- ◎ 4=45 I山峰
- ◎ 5=15 II山峰
- ◎ 5=30 III山峰
- ◎ 6=25 IV山峰の先で アプサイズに5m
- ◎ 7=55 TS 着 V、VIのコル経由

道がわかりにくい



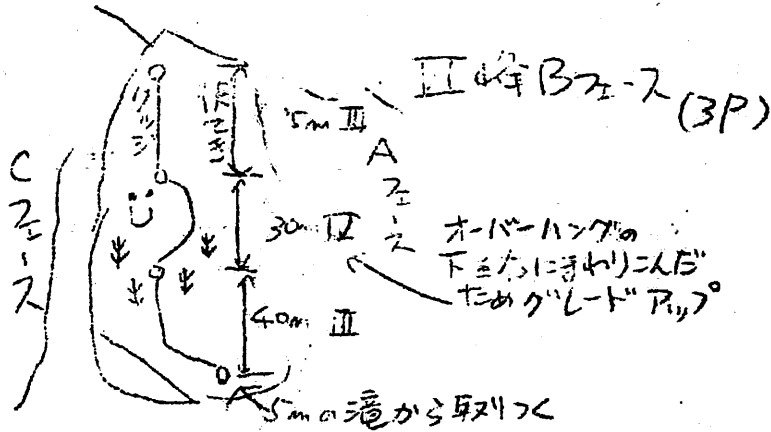
(感) マイターピークを登るときは晴れてよかった。あまりに長いのでたいくつしよう。

熊の岩から出かけるにはマイトーピークは遠すぎる (国本)

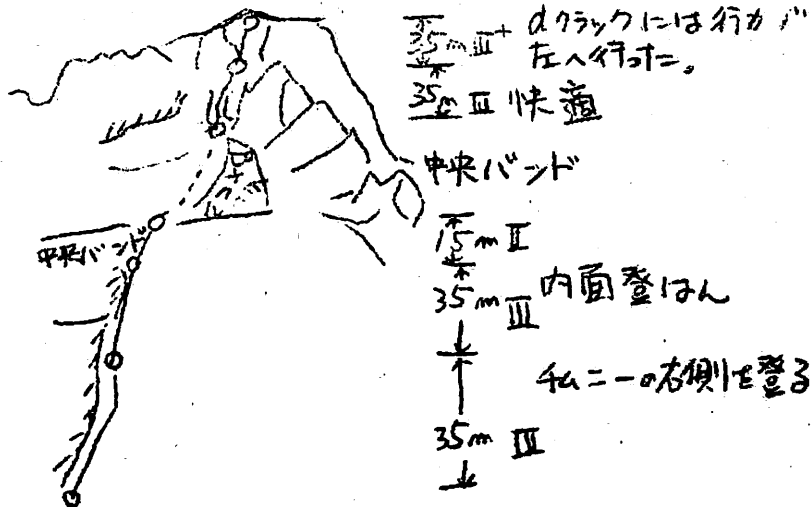
8月23日 マイトポーク 東面スラブ ハ山峰 下部縦走
Bp. Ⅱが カトウ

8:10 ③
5:55 ④
6:50 ⑤ 真砂 大丈夫よ。
8:15 ⑥ じっからでF
8:50 ⑦ カいからできで下さし
3:00 ⑧ 終了 (カトウ)
8:00 ⑨ B.C着

C1-ティー L系田川 水谷 森
ハ山峰Ⅱ峰 B face 京丸ト → キンネ 中央4mニ - 9 4mニ -
C.d クラック



キンネ 中央4mニ - ~ 9 4mニ - C.d クラック (5.)



5:00 T.S.の

5:10 取付

7:05 八ヶ岳登山終了◎

7:45 千ヶ岳の頂上

8:15 ジャンゲルの下

8:50 取付

10:00 中央バント

11:15 登山終了(千ヶ岳の頂上)◎

15:15 登山終了(千ヶ岳の頂上)◎

16:10 八ヶ岳VVIの頂上

16:25 T.S. ◎

(感) 今日はいずれもルートだったが、高感感があって楽しかった。中央44-2の2は内面登山で本がT=40いやだ。T=0。3人partyで9.15の割にははやい登山が終了したのは楽しいルートだったからT=30。(記入 毛)

Dパーティ

八ヶ岳66.3 C7E-2 RCC ~ 八ヶ岳上峰縦走 - 千ヶ岳左縦線

L737夕夕モト

T.S. 5:05

C7E-2 RCC 取付 5:30 ① ルートまがう

C7E-2の頂上 5:45 ①

三窓 9:00 ①

左縦線取付 10:00 ①

終了 11:00 ①

T.S. 11:25 ①

今思えば 楽勝

C7E-2の頂上から

立山、剣ヶ峰、白馬

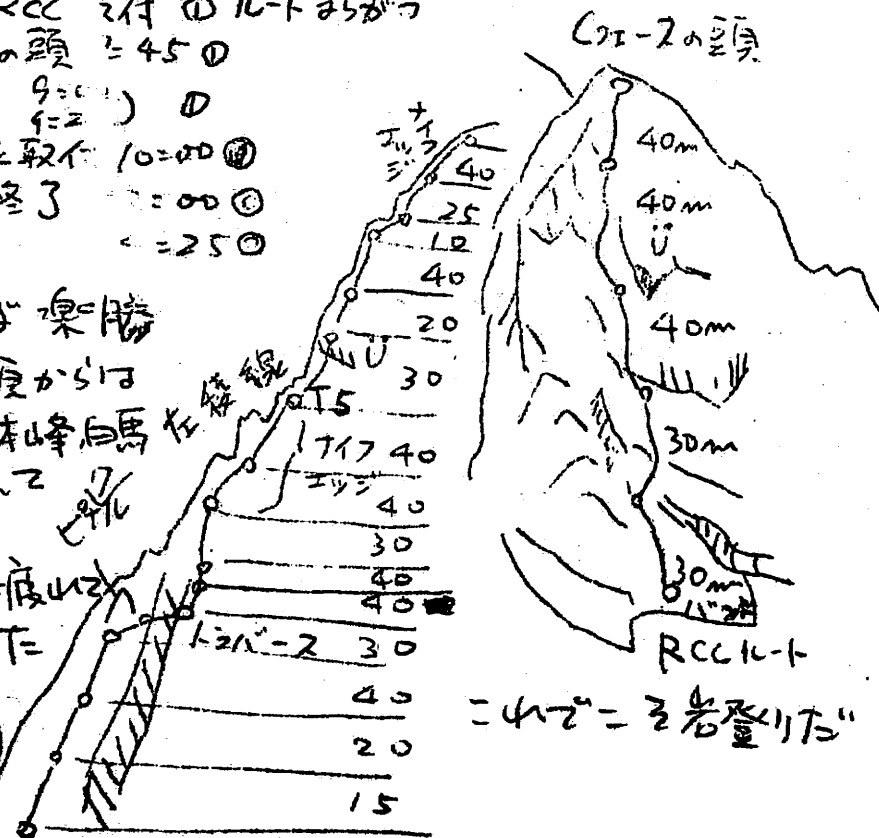
子でみえ

ルン

帰りは疲れた

遅いルート

(TAKE CHAN)



千ヶ岳 = 3/4 登った

8月23日(火)

Fire L タカリ カドヤ

Cマ-ス 剣菱会ルートへキッネ魚津高ルート

Aバンド 6フック

Cマ 剣菱会

5:20 取付 ◎

6:50 終了 ◎ (Lママ) 6P.

別に問題ナシ

タイフリッジもEalくない



魚津高ルート aバント bクラク

8:00 三, 窓 ①

8:40 取付 ①

9:30 中央バント) 3P

10:25 千之本頭 ①) 2P

12:30 " 登 ① ② ③ 11.00 以降 下降

1:10 TS 着 ① V 頂のヨルより



(感) 魚高
2ピツ千目の
とらほあすか
びびつた
aバントクラは
特トポイントナ

天気がよく
たのしく登れた

(魚谷)

8月24日 水曜日

八峰VI峰 Aフェース 魚津高ルート

Lフジタ モリ

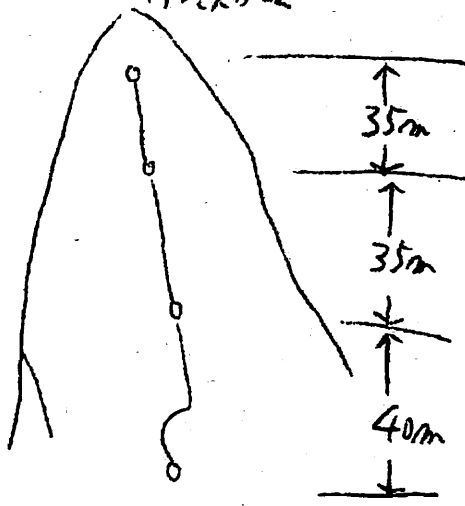
5:55 T.S 出発 ガス、213

6:05 取付

7:50 登山終了) 3P. 途中から霧雨が降りました

8:40 T.S

ルート図 Aフェースの頭



ガス ハイゼットつかまればよい
雨も降りかかっていた
雨が降ってもがきやすすぎ
快適な登山

狭いテラスで確保

III+ 取付の石田が所かむずかしかった
IV

朝起きたら雨が降っていたので出発を遅らせ八峰のみの

登山に終わった 最初の2Pはおもしろかった

岩がぬれて手が冷たかったが かつら岩のためほとんど

すべりず 良い登山でした。

by モリ

8月24日

Dス-ス 富山大ルート

L ホヤカワ カトヤ

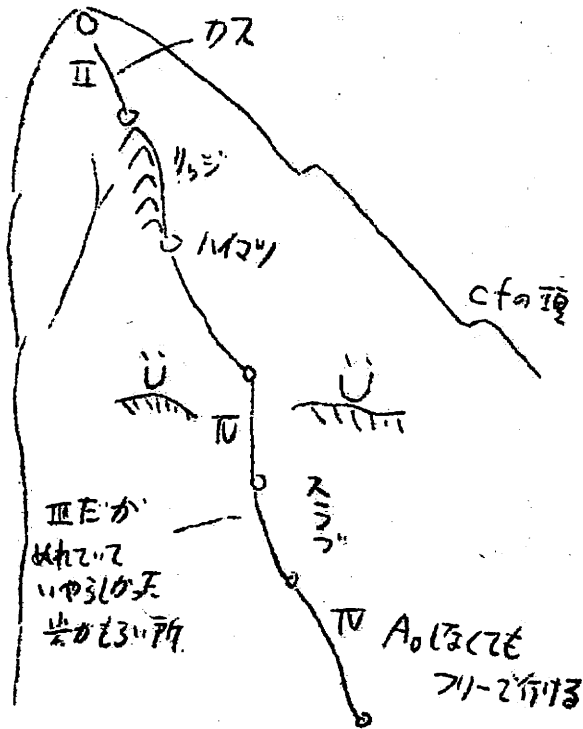
5:55 T.S 出発 ガス

6:20 取付

8:20 終了 きれいさめ

8:55 T.S 着

ルート図



雨のため 水がきれい
Dス-スはやはり工事がかた
とくに下部 3/4が いやな
ぬれていたため Ⅲのとき、水が
T.Sに引いた 感じだ

Ⅲが
ぬれて
いやな
水がきれい

A. 1/3 2/3
7/1-2/3

8月24日 水曜日

Bコース 京大ルート Lサングラス かん-

6:20 取付 ◎ 2P目の岩はもろく浮岩が多い

7:20 終了 ◎+ 1Pと3Pはもたつた

8:00 T.S着 ◎+ 全体的に岩が濡れていた
少しホールド ステップにも不安

かんきう

天候が思わしくないので いまいる だった

晴れたら もっと気分よかつたでしょう

3P目のリッジは 立ちかすかつた 記 かん-

8月24日

Cコース 創設会ルート Lコカ オカモト 竹本

T.S出 6:00 ◎

取付 6:20 ◎

終了 9:50 ◎+ かんきう

T.S着 11:10 ◎+

テントに付いたのは 12テントの中で一番最後
Xと互いにもいルートでも互いのた 雨風に

て5分くらい 3時間半もかかっただけ!

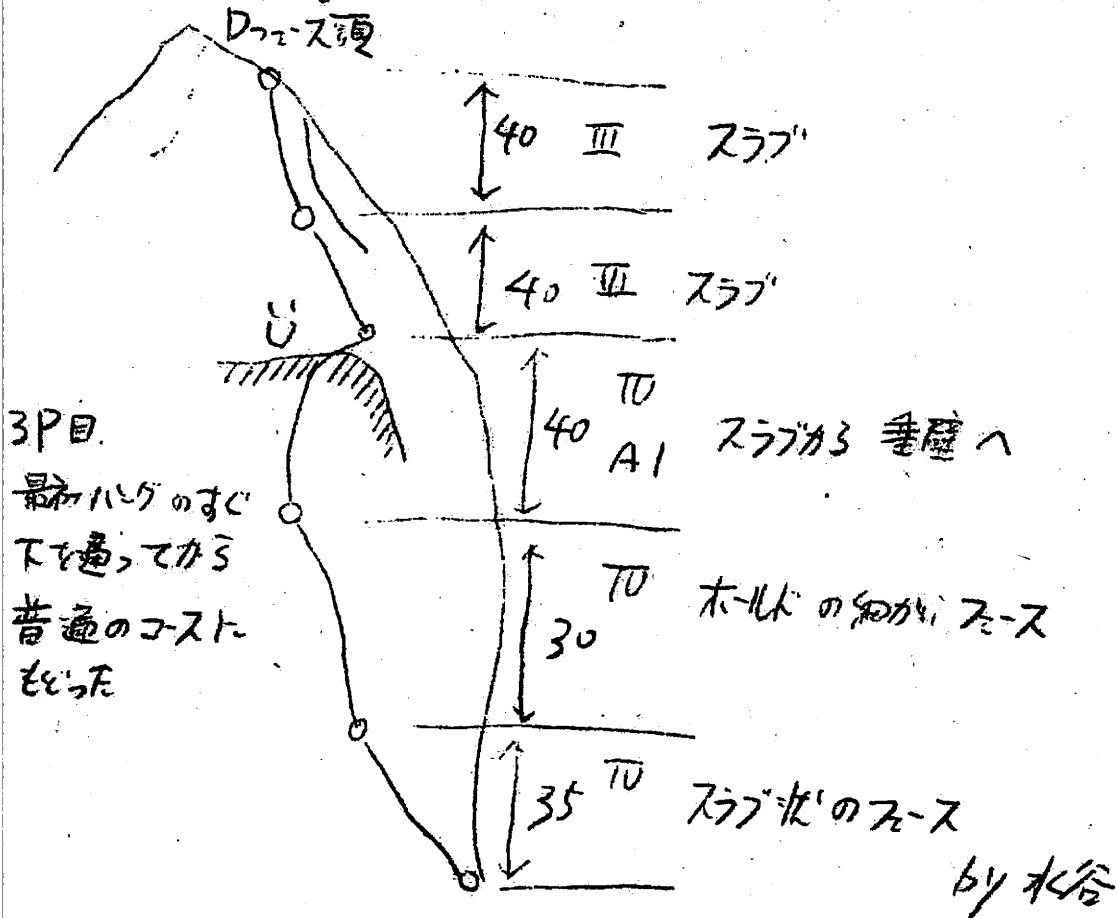
あ 結構な

by たいせ

8月24日 水お

Dコース 久留米ルート Lタリ ミズタニ

- 6:00 T.S 出 ○ かしら
- 6:15 取付 ●キ コースにはよかつたが
- 8:45 終了 ●キ 石で足が ちがったよ
- 9:20 T.S 着 ●キ 下で寝ていらった



8月25日

雨のため 中止 一日中 歩いて

8/26 (金) <<ヒノク山行>>

Aパーティ (L. 沢田・水谷) D₂ 富山大

5:50 ◎ T.S.
6:15 ◎ 取り付き
6:30 ◎ 登りはじめ
8:30 ① 終了

Bパーティ (L. 藤田・竹本) D₂ 久留米大

Cパーティ (L. 鷹取・角谷・岡本) A₂ 中大

5:50 ◎ T.S.
6:10 ◎ とりつき
8:40 ① 終了
9:05 ① 取付に到着

A・B・Cパーティ (L. 沢田・藤田・鷹取・水谷・角谷・岡本)

10:00 ① 出発
11:00 ① 直砂原ヒュウ
11:50 ① 二俣
15:25 ◎ 平の池

二俣の先の尾根道を登りつめたところから池の平小屋
までの道はあかりにくい。ほぐたうはその道を見失ってしまったので
道がないところを強引に通した。小屋がなく、直接平の池に着いて
しまった。平の池には水場がある。

D₁₂-T₁ (L. 細川、加藤) A₂ 魚津高

6:00 ◎ 取付

7:30 ① 終了

2ピ→4ピのおわりのあたりに浮石が多い

E₁₂-T₁ (L. 古賀、森) C₂ RCC

5:40 ◎ T.S.

5:55 ◎ 取付

7:50 ◎ 終了

8:15 ① A₂下

全部で5ピ。Spはカスホル+70インテンクに注意。
おまわりを察するよう。

D₁-E₁₂-T₁ (L. 細川、古賀、加藤、森)

8:30 ① 出発

9:30 ① 真砂沢ロ→ジ

10:25 ◎ 近藤石

13:25 平の池(水)

14:50 ◎ 小窓

16:45 ① 三の窓。水は左後線取付の下の雪渓の隣

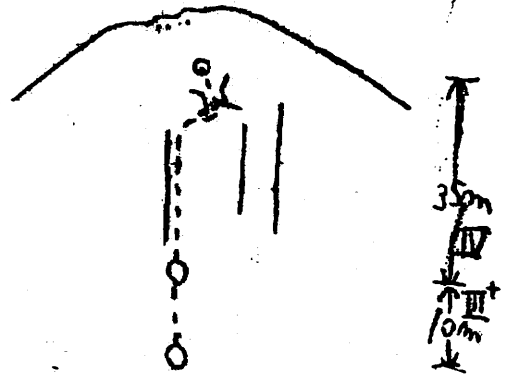
朝の霧が入っていたので剣屋根を中止する。しかしながら長次郎雪渓を下った所でトランプとなり。行くながら三の窓まで行った。池や平山を煮るつもりがトラブルしてしまい、小窓雪渓に出てしまった。大変疲れた山行であった。夜は結構ねむれた。

千ネジャンフィルム3本7577 (L.細川、加藤、森)

17:10 取付

18:45 三の窓

左の7577を登った。
7577をぬけてからの
千ネがたいへん。



8/27(土)

A.B.C.R-ティ (L.沢田、藤田、鷹取、水谷、竹本、角谷、岡本)

5:05 ① 平の池先

6:05 ① 小窓雪渓に上る

6:55 ① 小窓

9:00 ① 三の窓

池平山を越えていくつもりだったが小窓雪渓にてまじった。
小窓雪渓は下の方に(滝のある所)に大きな7577のアイスがあった。
上の方の雪の状態はわるくなかった。しかし一番上の方に、左側か右側
かで小さな割れ目がはいていた。

A.R-ティ (L.沢田、角谷) 千ネ左左方向・D₂久留米

① 9:50 左下から取付

11:25 ① 中央バスター ルート図は次の通り

13:30 ① 終了

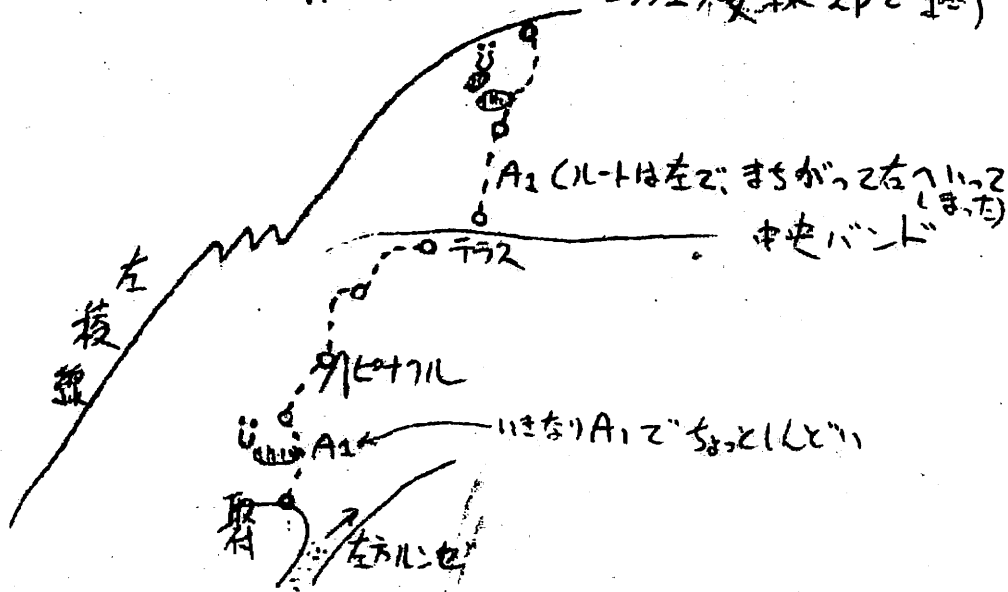
14:45 ① D₂から取付

16:40 ① 終了

② 22時ごろに上り、
27分画と行々2本竹法

千不左下左方止

→左後線 2P2 終了



Bパーティ (L. 鷹取. 団本) 千不左後線

9:30 取付

15:05 終了

16:20 テンバ 途中 70.5% 現象 出現

Cパーティ (L. 藤田. 水谷. 竹本) 千不魚高 A1, B, A2 中大

9:50 ① 魚高 とりつき

11:40 ① 中央バント

12:40 ① 終了 古賀パーティ (E.P.) と 11:20 に 元山 へ

14:20 ① 中大 取付

17:00 ① 終了

13:25

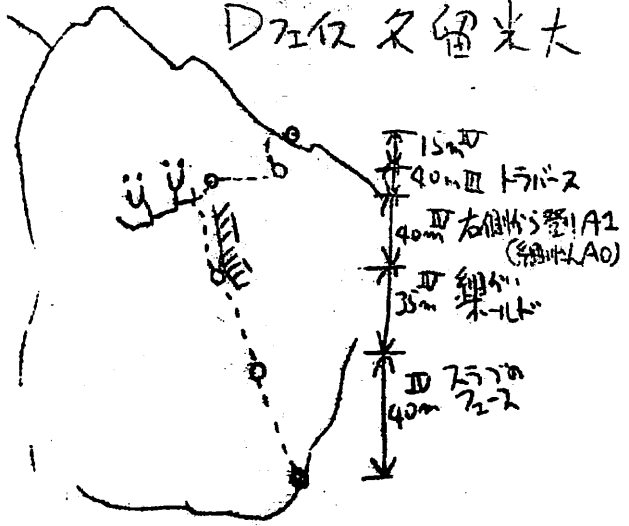
⑧ 千不左行 千不右行 千不中 千不左 千不右 千不中

D 12-1 (細川森) 千之左下左方汗・D 五久留米
A 五中大

- 5:55 三の窓
- 6:15 取付 (左下汗)
- 8:05 中央汗
- 10:10 終了 } 左方汗左稜線上部
- 10:55 D 五仅下
- 11:30 取付 } D 五久留米大
- 13:30 終了
- 13:55 A 五仅下
- 14:15 取付 } A 五中大
- 15:10 終了
- 15:25 A 五仅下
- 15:50 T.S.

今合宿で最も充実した日であった。前日三の窓まで来た甲斐あり。はやめに千之を登ってしまい、八峰を二本登れた。登山内容もIV級ぐらいが主体で腕力等疲れたが面白い登山であった。ただ昨日の疲れで登山中の集中力が欠けていたのか落石を多くしてしまつたことは反省すべき点である。

D 五久留米大



4pと5pはた"るいのこ" 右へ上げた。
ルート図にはないのこ"注意" ヒンも少ない。

E12-1 (L.古賀、加藤) 千本左後線

6:30 ○ 取付

13:05 ① 終了

① B.C.

長川ルートだったけど後線を登って行くので身持ちよかった。少し時間がかかったがそれも仕方のない事。ドブッパシだったのもっとよかったと思う。

8/28(日) <帰り>

11:10 ○ B.C. 死

11:45 ○ 真砂沢口、じ

12:05 ○ ハンゴ谷の登り

12:20 ○ ハンゴ谷東越

12:00 ○ 内蔵助平

12:40 ○ 出合の手前まで

12:45 ① 黒部ダム

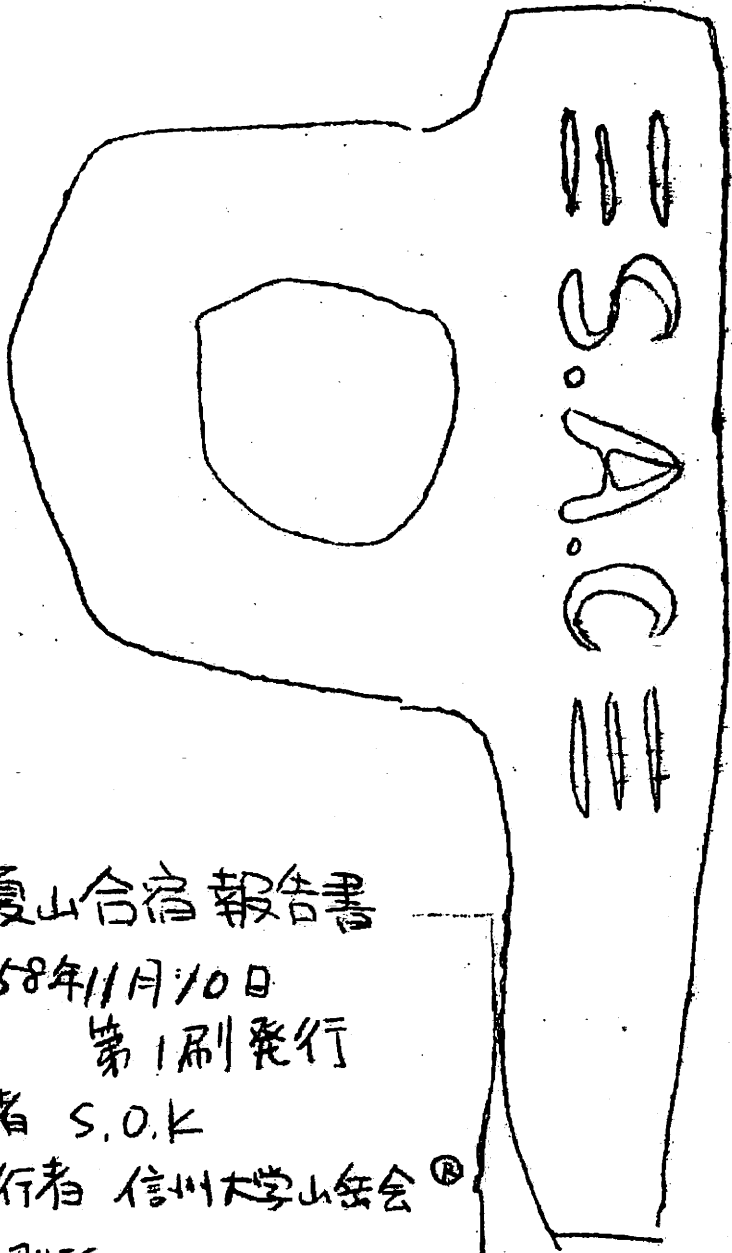
トローリーバスで扇沢へ

ダブリンで 大町

列車の中で解散

おれび

普通ならば、このページは
合宿の個人反省があるん
で、1年全員の息が
合わず、反省文を全く
入手できなかったため、
やむなくカットした次第で
あります。おとくに
申し分けありません。



夏山合宿報告書

昭和58年11月10日

第1刷発行

著者 S.O.K

発行者 信州大学山岳会[®]

印刷所

(株) 松本出版 松本市
三丁目
3F